

坂の上通信

令和三年七月十六日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文芸部(四〇三演習室)

やはりある「男女間の意識格差」

「美高生のジェンダー意識」集計結果

毎年恒例の新聞部文化祭企画、全校アンケート「当世美高生気質」。今年度のテーマは美高生のジェンダー意識。結果を男女別に集計することで、両者の意識格差が浮き彫りになった。

最初の質問は「いつ頃までに結婚したいか」というものだ。結果は左表の通り。男女ともに、20代後半までに結婚したいと考えている生徒が約半数を占めていることが分かる。遅くとも30代前半までに結婚したいと考える生徒が、75%以上を占めた。

男女の差はあまり大きくはないが、やや女子の方が早めの結婚を望んでいることもうかがえた。一方で約1割の生徒が「結婚したいと思わない」と考えていることも明らかになった。

調べたところ、戦前の初婚年齢は男性は27歳、女性は23歳前後、女性は23歳前後だったそうだ。戦後は少しずつ上昇し、ベビーブームなどで一時的に下がった機会もあったが、現在は初婚年齢が高年齢時代にある。総務省のデータによると2019年の平均初婚年齢は男性31・1歳、女性は29・6歳。女性は世界ランキングでは7位あたり。ちなみに1位はノルウェーの31・8歳。最下位は西アフリカにあるブルキナファソの19・5歳だそうだ。(池田彩華)

質問1 いつ頃までに結婚したいですか

| | 男子 | 女子 |
|------------|-----|-----|
| 10代のうち | 0% | 0% |
| 20代前半まで | 13% | 13% |
| 20代後半まで | 46% | 54% |
| 30代前半まで | 16% | 14% |
| 30代後半まで | 3% | 1% |
| 40代～50代まで | 0% | 0% |
| 時期は気にしない | 10% | 8% |
| 結婚したいと思わない | 11% | 9% |

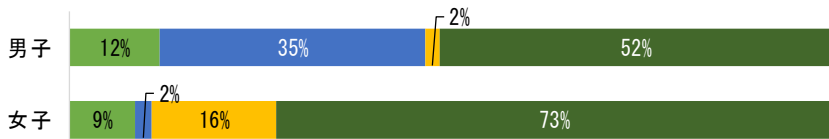
共働き希望

「将来どのような家庭のありかたを望むか」というアンケートでは男女共に「自分もパートナーもともに働いて収入を得て、家事も分擔したい」という、いわゆる共働きの形態を望む生徒が一番多かった。

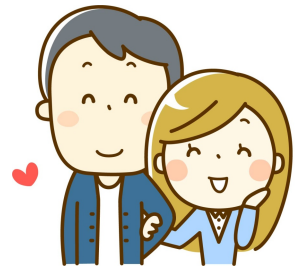
女子は73%

【有効回答数について】担任の先生の協力のもと、一年生225名、二年生202名、三年生223名から回答を得ました。無効回答7を除いた有効回答数は643でした。これは全校生徒の約90%にあたります。

質問2 将来どのような家庭のありかたを望みますか



- パートナー(配偶者)などは持たず、1人で働いて収入を得て、1人で暮らして行きたい。
- 自分が働いて収入を得て、パートナーには家事などを中心に行き家庭を支えてもらいたい。
- 自分が家事などを中心に行き家庭を支え、パートナーには働いて収入を得てもらいたい。
- 自分もパートナーもともに働いて収入を得て、家事も分擔して行きたい。



かつては当たり前だった「男性は仕事、女性は家庭」という形態を望む男子は35%で、女子は16%だった。この結果からも、女子の方が今までの形を脱却し新しい家庭の形にシフトチェンジすることを望んでいることが分かる。また少数だが「自分が働くので夫には家事を頼みたい」という女子もいた。(森勇樹)

新聞文芸部 令和3年度文化祭企画 全校一斉アンケート

新聞文芸部では、美高生の意識や実態を調査する「当世美高生気質」を今年も実施します。今年度のテーマは「美高生のジェンダー意識」です。回答は、すべて一番下の回答欄に記入してください。なお「回答することができない」「回答したくない」と感じる質問項目については、回答せず空欄のままかまいません。

【資料】

全校生徒を対象に実施したアンケート

- あなたの学年を、数字で教えてください。(例：1年生の場合は「1」)
- あなたの性別を教えてください。 1：男性 2：女性
- あなたは、いつ頃までに結婚したいですか。

| | | |
|---------------|-----------|------------|
| 1：10代のうち | 2：20代前半まで | 3：20代後半まで |
| 4：30代前半まで | 5：30代後半まで | 6：40代前半まで |
| 7：40代後半まで | 8：50代まで | 9：時期は気にしない |
| 10：結婚したいと思わない | | |
- 仕事に関して、将来どのような家庭のありかたを望みますか。

| |
|---|
| 1：パートナー(配偶者)などは持たず、1人で働いて収入を得て、1人で暮らして行きたい。 |
| 2：自分が働いて収入を得て、パートナーには家事などを中心に行き家庭を支えてもらいたい。 |
| 3：自分が家事などを中心に行き家庭を支え、パートナーには働いて収入を得てもらいたい。 |
| 4：自分もパートナーもともに働いて収入を得て、家事も分擔して行きたい。 |
- 選択的夫婦別姓(希望する夫婦が結婚後にそれぞれの結婚前の姓(上の名前)を名乗ること)についての議論が行われています。名前が変わらないことで女性の社会進出が進んだり、結婚後の様々な手続きの簡略化、個人情報を守られることなどのメリットが指摘されています。一方、子どもの姓の問題や家族の一体感・日本的家族観が崩れるなどのデメリットを指摘する声もあります。あなたは、選択的夫婦別姓についてどう思いますか。

| | | |
|------|------|---------|
| 1：賛成 | 2：反対 | 3：分からない |
|------|------|---------|

- 将来あなたが結婚した場合、姓(上の名前)について、どうしたいと思いますか。

| |
|-----------------------|
| 1：相手の姓を、自分の姓に変えてほしい。 |
| 2：自分の姓を、相手の姓に変えたい。 |
| 3：今まで通り、それぞれ別の姓を保ちたい。 |
| 4：わからない。 |
- 学校の中で、自分とは異なる性(男子生徒は女子生徒、女子生徒は男子生徒)がうらやましいと思った場面はありますか。あるとしたら、それはどのような場面ですか。

| | | |
|------|--------|-----------|
| 1：ある | 2：特になし | *記述欄もあります |
|------|--------|-----------|
- 自分の保護者や先生から、性別を意識した対応をされた経験はありますか。あるとすれば、それはどのような場面ですか。(例)「男の子・女の子だから～しなさい。」「男の子・女の子だから～しなくてもよい。」

| | | |
|------|--------|-----------|
| 1：ある | 2：特になし | *記述欄もあります |
|------|--------|-----------|
- 以下のア～カの項目について、あなたの気持ちに最も近いものを1～4で選んで教えてください。

| |
|---|
| ア 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てられるべきだ。 |
| イ 家庭で重要なことがあったときは、父親が最終的に責任を持って決定するべきだ。 |
| ウ 子どもが3才くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念したほうがよい。 |
| エ 夫も、家事や育児を平等に分担すべきだ。 |
| オ 男の子は、少々のことでは弱音を吐かないたくましさをもつべきだ。 |
| カ 男性どうしや、女性どうしの結婚(同性婚)を法律で認めるべきだ。 |

| |
|--------------------------|
| 1：そう思う。その意見に賛成する。 |
| 2：どちらかと言えばそう思う。特に違和感はない。 |
| 3：あまりそう思わない。やや違和感を感じる。 |
| 4：そうは思わない。その意見には反対する。 |
- あなたが結婚相手に求める条件を、以下の中から3つ選び、記号で教えてください。

| | | |
|--------------|-----------|------------|
| 1：思いやり・やさしさ | 2：誠実さ | 3：頭の良さ・教養 |
| 4：コミュニケーション力 | 5：決断力・行動力 | 6：経済力 |
| 7：容姿・見た目 | 8：家事能力 | 9：心の広さ・包容力 |
| 10：年齢 | | |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

「夫婦別姓」賛成だが自分はいはしない

「夫婦別姓についてどう思うか」という質問では、「分からない」と答える人が約半数いる一方、反対は男女とも15%程度で、男子は約3割、女子は約半数が夫婦別姓に賛成という結果となった。



しかし「自分が結婚した場合に姓をどうしたいか」という質問では、女子の半数以上が

相手の姓に変えたいという考えを持っており、今まで通りの姓を持ちたい、相手に変えてほしいという意見は、合わせて2割程度しかいなかった。

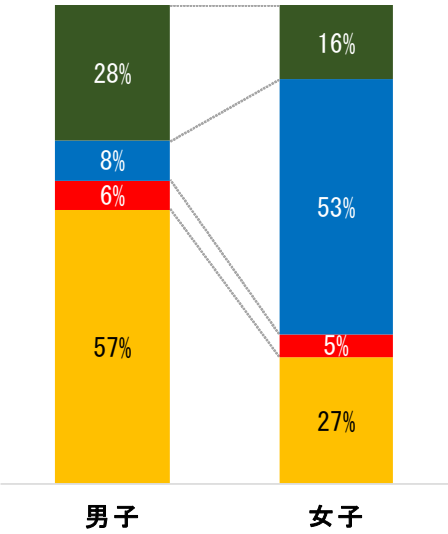
世界では夫婦別姓の国も多く、またそれぞれの旧姓を重なる「結合姓」を採用している国もあるようだ。日本では夫婦同姓が一般的だが、別姓を求める訴訟も起こされている。

(細木桃香)

【選択的夫婦別姓制度】現在の民法のもとでは、結婚に際して、男性又は女性のいずれか一方が、必ず氏を改めなければなりません。そして、現実には、男性の氏を選び、女性が氏を改める例が圧倒的多数です。ところが、女性の社会進出等に伴い、改氏による社会的な不便・不利益を指摘されてきたことなどを背景に、選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見があります。(法務省HPより)

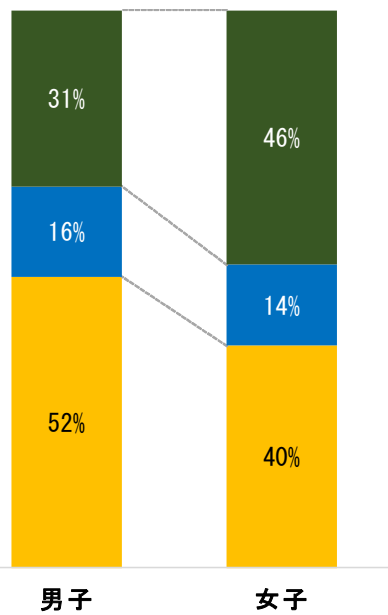
質問4 あなたが結婚したら姓をどうしたいですか

- 相手の姓を、自分の姓に変えてほしい
- 自分の姓を、相手の姓に変えたい
- 今まで通り、それぞれ別の姓を持ちたい
- わからない



質問3 選択的夫婦別姓についてどう思いますか

- わからない
- 反対
- 賛成



女子は男子がうらやましい

今回のアンケートでは「異性をうらやましいと思うか」という項目を設け、自由記述欄に具体的な内容を書くよう依頼した。結果、男子の13%に対して女子は36%が「思う」と答え、三分の一以上の女子が「男子がうらやましい」と思っていることが分かった。

具体的には「男子はトイレに並んでいない」「男子には生理がない」「男子は体力がある」などの身体的な面を挙げる声や「男子は人間関係がシンプルそう」といった、日々の対人関係に疲れた女子の声が目立った。

一方男子からは「男子の方が注意される、女子の方が校則がゆるい」という不公平感を訴える声があがった。「保護者や先生から性別を意識した対応をされた事があるか」という質問には対しても「ある」と回答したのは女子の方が多かった。

具体的には「行儀よくしなさい」「足を閉じなさい」「身だしなみに気をつけなさい」などの、いわゆる「女子らしさ」に関する声が多かった。また一部には「無理しなくていい」「頭がよくなくてもいい」などの「女性は男性より劣っている」とも受け取れる声もあがった。

「無理しなくていい」「頭がよくなくてもいい」などの「女性は男性より劣っている」とも受け取れる声もあがった。男子の方も泣いてはいいけど、「我慢しなさい」「重いものを持ちなさい」など、強く求められたことがあるという声があがった。

「無理しなくていい」「頭がよくなくてもいい」などの「女性は男性より劣っている」とも受け取れる声もあがった。男子の方も泣いてはいいけど、「我慢しなさい」「重いものを持ちなさい」など、強く求められたことがあるという声があがった。

(荒川桃花)

男子の言い分



【女子のココがうらやましい!】

- ・夏、スカートが涼しそう
- ・おしゃべりが楽しそうに見える
- ・体育が楽しそうに見える
- ・おしゃべりが楽しそう(髪・服装)
- ・怒られない(男子の方が注意される、女子の方が校則がゆるい)

【こんなこと言われた! 「男の子なんだから...」】

強くなりなさい・いっぱい食べなさい・我慢しなさい・泣くな・外で遊びなさい・女の子に優しくしなさい・重いものを持ちなさい

女子の言い分



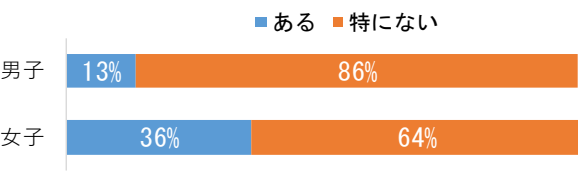
【男子のココがうらやましい!】

- ・冬、ズボンが暖かそう
- ・人間関係がシンプルで表裏がなさそう
- ・生理がない
- ・髪の毛が早く乾く

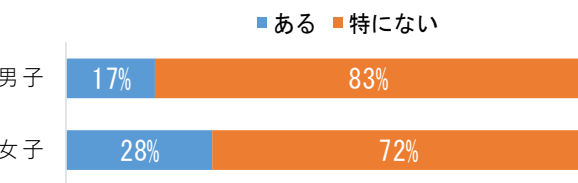
【こんなこと言われた! 「女の子なんだから...」】

足を閉じなさい・きれいにしなさい・行儀よく(おしとやかに)しなさい・身だしなみに気をつけなさい・「オレ」って言わない・言葉遣いに気をつけなさい・片付け(手伝い)をしなさい・手を出したらだめ・早く帰ってきなさい・力仕事はしなくていい・無理しなくていい・頭がよくなくてもいい

質問5 異性がうらやましいと思った場面はありますか



質問6 保護者や先生から性別を意識した対応をされた経験はありますか



美高生が結婚相手に求める条件

| 男子生徒が求める条件 | | | 女子生徒が求める条件 | | |
|------------|------------|---------|------------|------------|---------|
| 順位 | 項目 | 選んだ人数 | 順位 | 項目 | 選んだ人数 |
| 1 | 思いやり・やさしさ | 190 82% | 1 | 思いやり・やさしさ | 346 84% |
| 2 | 心の広さ・包容力 | 107 46% | 2 | 心の広さ・包容力 | 253 61% |
| 3 | 容姿・見た目 | 89 39% | 3 | 経済力 | 141 34% |
| 4 | 家事能力 | 57 25% | 4 | 誠実さ | 113 27% |
| 5 | 決断力・行動力 | 52 23% | 5 | 決断力・行動力 | 96 23% |
| 6 | 誠実さ | 51 22% | 6 | 容姿・見た目 | 91 22% |
| 7 | コミュニケーション力 | 48 21% | 7 | コミュニケーション力 | 73 18% |
| 8 | 年齢 | 36 16% | 8 | 頭の良さ・教養 | 46 11% |
| 9 | 頭の良さ・教養 | 30 13% | 9 | 家事能力 | 41 10% |
| 10 | 経済力 | 18 8% | 10 | 年齢 | 24 6% |

(231人中)

(412人中)

おもいやりが一番

結婚相手に求めるもの 男女とも

結婚相手に求める条件では、男女ともに「思いやり・やさしさ」「心の広さ・包容力」が1位・2位となった。思いやりをもっと優しく振舞ってほしい、たとえ過ちがあったとしても寛大に受け止めてほしいと考えている人が多いということがある。また条件に年齢を挙げた女子はわずか6%で、年の差にあまりこだわっていないこともうかがえる。

男女ではっきり違いが見られたのは、男子は相手に「容姿・見た目」や「家事能力」を求めていること、女子は相手に「経済力」を求めていること。実際に結婚する際には相手に「思いやり」をもち、家事等についても十分話し合ってから「令和型夫婦」のあり方を探っていく必要があるだろう。

(谷本惟斗)

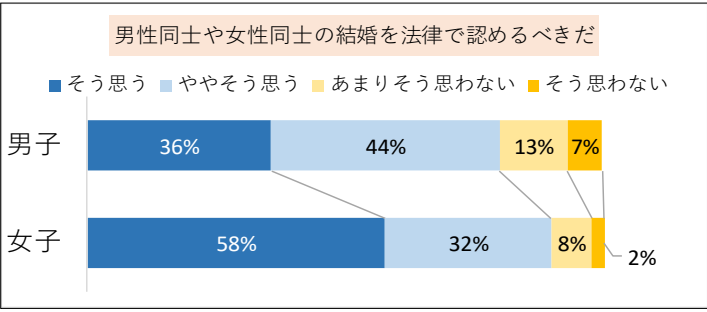
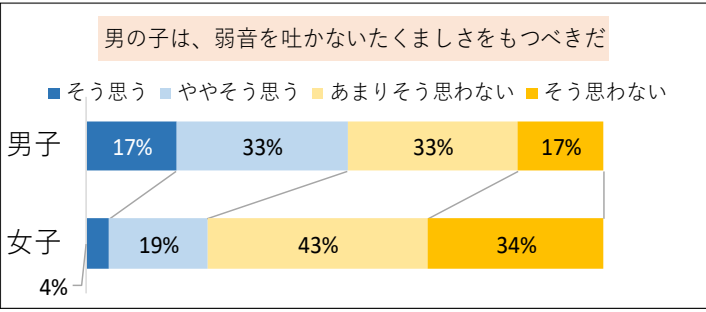
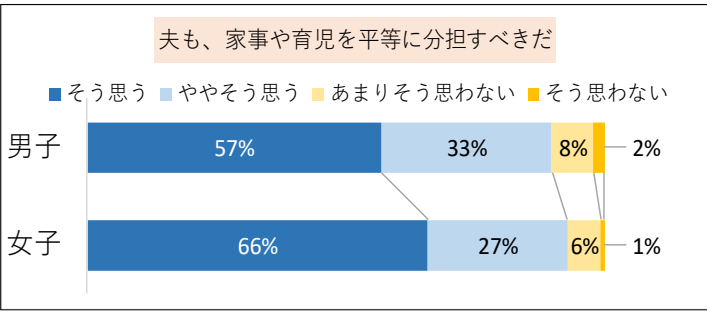
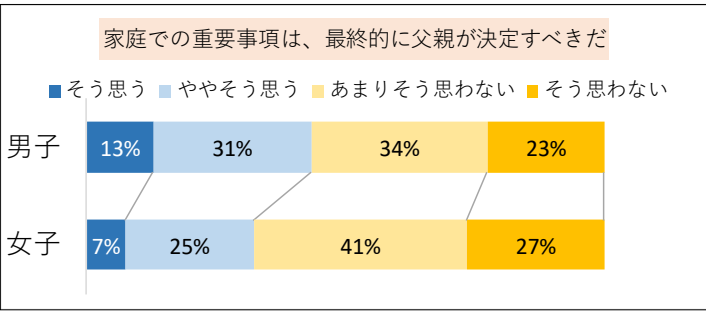
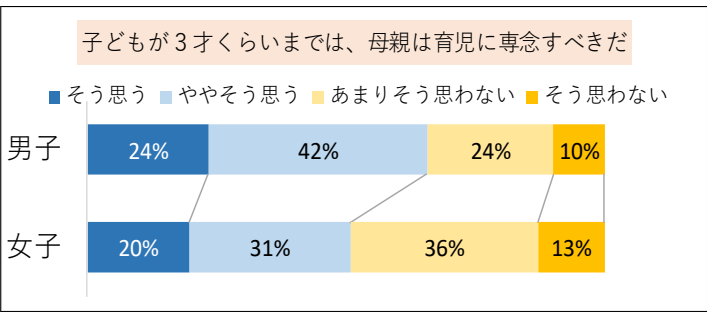
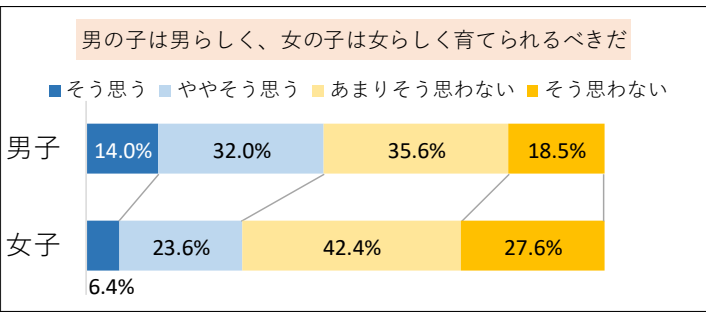
「男は強くなければならない」のか

社会的意味合いから見た男女の性別、いわゆるジェンダーについての意識調査を行った。男性の家事・育児

の協力や同性婚については男女ともに賛成意見が多かったが、それ以外の項目ではやや男性の方が固定化された

イメージにとらわれている様子が見え、また「男の子は弱音を吐かないたくましさをもつべきだ」という項目

目では、女子よりも男子の方がその考えに強くとらわれている様子も明らかになった。
(川崎 二郎)

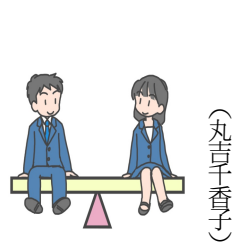


5 ジェンダー平等を実現しよう

SDGsとは国連で採択された国際社会共通の目標で、17のゴールが定められている。「ジェンダー平等を実現しよう」は、その5つ目の目標である。

世界では、女性であることで教育を受けられなかったり、人身売買で売られてしまったりといった様々な差別が依然として存在している。この目標は男

女平等を実現し、女性の能力を伸ばし可能性を広げるためのもので、世界各国で様々な取り組みが行われている。政治や経済など、様々な社会の中で女性が男性と同じように発言したり、リーダーになったりする



るための法整備などが期待されている。
(丸吉千香子)

新聞文芸部が全力で取り組んだ紙面です。よろしければご感想をお寄せください。

編集後記

(石井 咲衣)

一般的にジェンダー意識に関する調査結果では、男女を比較すると男性のほうが「保守的」、女性のほうが「革新的」とあるという傾向があります。美鈴が丘高校での調査でも、この傾向は変わりません。

将来の家庭のあり方に関する意識は、男女でかなりの違いが出ています。男性は女性に家庭を支えてもらいたいと思いついて、家事も分担したいと考えています。父親が最終決定者になるとか、男の子は弱音を吐かないたくましさをもつべきだという意識が

平等の達成はみなさんの肩にかかっている

で自分を拘束しているようにも見えます。選択的夫婦別姓に関して、男子の側は、よもや自分の姓が結婚によって変わるなどということは想定していません。女子は当然姓を変えるものと考えています。それは姓を変え

たいという女子の欲望にもなっているかもしれません。夫婦別姓にも同性婚にも賛成というリベラルな意識をもっていても、自分自身は長年続けられている制度や慣習に従うように作用します。

このように人々が「慣例」に無意識に従うことで既存のジェンダー意識は再生産されていきます。高齢者のジェンダー意識がなかなか変化しない傾向にあるというのは、このようなことに理由があります。今後、日本社会でジェンダー意識が変化し、平等が達成されるかどうかは、みなさんの肩にかかっています。

広島修道大学 人文学部教授 河口和也先生のお話

「美高生のジェンダー意識」調査をされたこと、全校生徒の90%の有効回答数は皆様の多大な努力によるものと敬意を表します。

「将来の家庭のありかた」というアンケートに対して「自分もパートナーとともに働いて収入を得て、家事も分担したい」という男女ともに、共働き希望が一番多いとの結果と合わせ、女性が共働きを考え、社会で活躍したいという強い希望を持たれていることが、日本のあらゆる分野で遅れているジェン

だ」という固定的な性別役割分担意識は、男女どちらにとっても多様な生き方を制約する要因になっています。広島市男女共同参画推進条例の前文には「平和とは紛争や戦争のない状態だけをいうのではない。すべての人が差別や抑圧から解放されたいと思っています。」

固定的な意識が多様な生き方の制約に



初めて平和といえる。男女においては、性別に差がなく、対等のパートナーとして責任を分かち合い、個性や能力を十分に発揮できる社会を実現することが必要である」とあります。ゆいぽーとは、美鈴が丘高校の皆様と共に、SDGs（持続可能な開発目標）の基本理念である「誰一人として取り残さない世界の実現のために」をめざし、毎日の生活の中でできることから「知る」「始める」「続ける」「伝える」を大切にしたいと思っています。

美・鈴・鈴・鈴

今年度の坂の上通信文化祭特集は「ジェンダー」。生物学的な性差を前提とした、社会的・文化的性差のことだ。ジェンダレスはこれをなくそうとする考えで、男女ともに看護師、保育士と呼ぶのはその一例である。▼

では97年から女子用スラックスを販売し、現在では全国の小中高約800校が採用しているという。もともとは防寒目的だったが、近年はトランスジェンダーへの配慮から採用が増えたとはいえる。▼一方、男子用スカートは商品化されていない。理由はスカートを選ぶ男子生徒の「カミングアウトの強制に繋がる」からだといふ。おかしくはないか ▼女らしさ・男らしさといった、人を枠にはめるような価値観を私たちは自然に受け入れ、合わないものを奇異な目で見ようとはしていないか。今回の特集がジェンダー差別について、よりよいジェンダレス社会について考えるきっかけになればと思う。